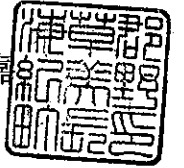


紀建第116号

平成19年4月25日

国土交通省道路局長 様

紀美野町長 寺本 光 嘉



中期的な計画の作成に当たっての意見の提出について

平素は、町道路行政に御尽力いただいておりますことに対し、厚くお礼申し上げます。

国道企第114号 平成19年4月2日付けで依頼のありました標記の件に付きまして、別紙の通り提出いたしますよろしくお取り計らい願います。

## 中期的な計画の作成にあたっての意見

本町は県都和歌山市へ27km、海南市へ10km、関西国際空港まで53kmと都市部に比較的近距离に位置するものの、町内幹線道路の整備が遅れており、生活関連施設や中核医療施設への所要時間の短縮がいまだ改善できていない状況にあります。

中でも中核医療施設への所要時間については車で45分もかかり、直接人命にかかわる問題であります。これらの事に対処するために、ドクターヘリをフルに活用することで対応しておりますが、ドクターヘリの数にも限りがあり、常に利用できるとは限りませんし、夜間には要請できません。また、山間地方に位置する本町の場合、ドクターヘリが離発着できる平坦地も限られており、その場所まで早急に移送するためにも、道路網の整備が急がれます。

道路は国民生活や経済・社会活動を支える最も基本的な社会資本であり、国土の均衡ある発展と、安全で安心できる豊かな生活の実現に欠かすことが出来ないものであります。しかしながら、半島に位置する本県の北部山間地域にある本町は、その道路整備については県内においても、また全国水準から見ても大きく立ち遅れており、町民の自立的な発展や生活向上を図る上で大きな支障となっております。また、幹線道路の整備を促進させることは、町村合併後本町が一体として発展してゆく為の最重要課題であります。

30年以内に50%の確立で発生が懸念されている東南海・南海地震に備え、土砂崩れ等による道路の寸断によって、地域が閉塞状態に陥ることが想定されます。これらに対処すべく、防災ヘリポートを16箇所新設する計画であり、今年度においてはそのうち2箇所を新設する予定であります。避難路の確保や防災ヘリポートからの物資の輸送路の確保の為にも早急なる幹線道路網の整備が是非とも必要であります。しかしながら本町のような中山間地域は急峻な地形的条件から道路整備に多額の費用を要するなどの課題があります。

現在、構造改革の推進による都市と地方の格差が拡大する傾向にあり、三位一体の改革による地方自治体の財政難に対応してゆくことが大きな課題となっており、本県では効率化を徹底的に進める観点に着目し、山間道路については、既設道路を可能な限り有効活用する1.5車線の道路整備の推進に取り組んでおります。

本町の幹線道路は、清流貴志川に沿って東西に走る国道370号と県道7線で構成されておりますが、中でも特に国道370号の早急なる整備が緊急課題となっており、これらの幹線道路を幹線町道と有機的に連結させ、より一層充実した道路網の構築を図るべく官民一体となって取り組んでおります。

国道370号は、海南市から本町を通り、かつらぎ町を経て橋本市や世界遺産である霊場高野山に通じる主要幹線道路として位置づけられておりますが、道路幅員の狭さと

通過車輛の急増のため朝夕の渋滞もひどく、幹線道路として十分な機能を果たし得ない状況であり、地域住民のご協力のもと、現在整備推進中ではありますが、まだまだ未改良区間も多く、より一層の整備促進が必要な状況であります。

今回国土交通省による中期的な計画の作成に当たり、重点化を進める上で特に優先度の高い政策として、地方の自立的な発展に不可欠な高規格道路から県道、市町村道に至る道路網の整備をより一層強力に推進し、地方部の遅れた道路整備等を計画的に推進するとともに、地方の道路財源を確保し、地方財政対策を充実させることを強く要望致します。特に大災害に備え、まさに地域に住む者の「命の道」である地方主要道路整備がこれ以上遅れるようなことがないようお願い致します。